

兵庫が育む ころ豊かで自立する人づくり

兵庫

2025 6月号 No.892

教育

特集

探究・文理横断・実践的な 学びの充実

－科学的に探究するための資質・能力の
育成をめざして－

論文

これから求められる“探究”をどのように支援するか

●中京大学 教育教育研究部 教授 泰山 裕

教育実践

各校の実践より

●西宮市立今津小学校 ●姫路市立安富中学校 ●県立御影高等学校



9年生（中学3年生）による小学校への出前授業（平和学習）
〔小野市立小野南中学校〕



月刊「兵庫教育」

URL <https://www.hyogo-c.ed.jp/~edu-center/>

発行：兵庫県教育委員会

編集：兵庫県立総合教育センター

学校 訪問

ふるさとを愛し、世界に学び、
未来を切りひらく児童生徒の育成

小野市立小野南中学校

小野市立小野南中学校は、昭和35年4月に、小野市立
来住中学校と市場中学校が統合して開校された。「師範
精神」を校風とし、「心豊かで自立した生徒の育成」「考
え実践する生徒の育成」「公共に尽くす生徒の育成」「た
くましく健やかな生徒の育成」の四つの学校教育目標の
もと、「おのみなみ 夢と希望の教育」を推進している。
令和3年12月に校舎の長寿命化改良工事が完了し、新し
くなった校舎にはスクールカラーの緑色があしらわれて
いる。校庭からは、日本一低い小野アルプスを望むことができ
る。



▲スクールカラーをあしらった校舎

◆小中一貫教育

小野市は、平成28年度から市内全中学校区で小中一貫教
育を推進している。同校は、小野市立来住小学校と市場小
学校の2校と、系統的な学習指導、生活ルールの統一化、
情報共有による児童生徒理解、行事交流等を行いながら、
同校区小中一貫教育目標である「ふるさとを愛し、世界に
学び、未来を切りひらく児童生徒の育成」を推進している。
さらに、同校では、小中一貫教育の利点をいかした「義務
教育9年間の教育課程の再構築」の研究にも取り組んでい
る。同校生徒や教員による出前授業、小中交流（小中ふれ
あいの日）、児童会・生徒会交流会等の交流行事を通して、
3校が心を通い合わせ、小中の連携を深めている。



◀小野南中
マスコット
キャラクター
交通の守り神
「サウス」



▲小中ふれあいの日

◆「歌声響く学校」～合唱活動～

合唱活動は、開校当時の伝統的な取組である。12月
のミュージックフェスティバルではクラス・学年・全校で
の、2月の全校合唱では学年・全校での合唱をそれぞれ披
露している。日々のMT（朝の会）、AT（終わりの会）を
はじめ、全校朝会、学校活動の時間等を使って、生徒たち
は合唱活動に取り組んでいる。この活動を通して、生徒は
歌うことの楽しさ、仲間と協力する大切さを学んでいる。
ミュージックフェスティバルでは保護者、関係機関の方々
を、同校の人数週間最終日に実施される行事「人権フィ
ナーレ」では前述の2つの小学校の6年生をそれぞれ招い
て、合唱を披露している。



▲ミュージックフェスティバル

